

平成22年度 部長の事業マニフェスト 達成状況の公表

昨年の「広報まいばら」6月1日号で市民のみなさんに宣言した、「部長の事業マニフェスト」について、1年間の成果をまとめました。

全84項目中、約7割の65項目が、「目標をやや上回る成果」または「目標どおりの成果」という自己評価結果になりました。

一方、「目標を下回る成果」となったのは6項目で、これらについては今年度内の完遂に向けて、引き続き職員一丸となって取り組んでいきます。

なお、各部局長の主な取り組み結果については、次のとおりです。

達成度（自己評価）の見方		H22	構成割合
★★★★★	目標を上回る成果	0	0%
★★★★☆	目標をやや上回る成果	12	14.3%
★★★★☆	目標どおりの成果	53	63.1%
★★★☆☆	目標をやや下回る成果	13	15.5%
★☆☆☆☆	目標を下回る成果	6	7.1%
計		84	100%



取り組み結果の全項目は、市の公式ウェブサイトと市政情報プラザでご覧いただけます。

お問い合わせ 政策調整課（米原庁舎）
☎52-6626 ☎52-5195

総務部長の事業マニフェスト

● 多文化共生社会実現のための施策検討 ……………★★★★

外国籍市民に対する行政サービスを充実させるため、各庁舎に通訳の配置と相談専用電話を設置し、福祉・教育・就労などの分野において、サービスの充実が図れました。

また、生活ガイドブックの刊行についても、市職員によるワーキングチームを立ち上げて協議し、ポルトガル語版と中国語版を予定どおり年度末までに作成し、各庁舎や人材派遣会社等に配布しました。

● 公共施設の見直し ……………★

2か年かけて実施した公共施設見直しについては、外部委託による「米原市市有財産調査業務」を完了し、市が策定する「公共施設再編計画」の素案となる報告書のみ年度末にできました。そのため、平成23年度の上旬までに計画書が策定できるよう、引き続き取り組みます。

政策監の事業マニフェスト

● 水源の里指定地域への支援 ……………★★★★

水源の里指定地域において、市民自治組織の活動に企画段階から参画し、交流体験プログラムなどの実施を支援しました。その結果、当初5本以上の目標に対して12本の体験プログラムなどをメニュー化し、これにより地域の魅力を発信するとともに、移住者などの地域活性化の担い手や応援団を増やす仕組みを構築しました。

理事の事業マニフェスト

● 米原駅東口周辺まちづくりの推進 ……………★

米原駅東口周辺の保留地販売について、民間企業へのセールスと情報発信に努めましたが、工事の遅れにより完成の6か月前を目途に実施する予定であった事業プロポーザルに取り組みせず、結果的には事業提案書の受理に至りませんでした。

健康福祉部長の事業マニフェスト

● 障がいのある人の 就労支援・生活支援の推進……………★★★★

障がいのある人の働く場所を確保するため、旧伊吹学校給食センターの建物を活用し、就労継続支援A型施設（福祉工場）の誘致を行いました。また、グループホーム（共同生活ができる施設）の整備事業の実施に向けて、事業採択の要望を行いました。

● 認知症高齢者の グループホームの設置支援……………★★

認知症高齢者のグループホーム（共同生活ができる施設）の設置に向けて、開設事業者から補助金の交付申請を受けました。年度内の工事完成に向けて取り組んでいましたが、完了までには至りませんでした。

土木部長の事業マニフェスト

● 国・県事業の整備促進……………★★★★

国道8号バイパスの整備については、本線の用地買収を全て完了し、平成24年度の供用開始に向けた整備が進んでいます。また、一級河川の浚渫については、丹生川および土川の一部を完了しました。

なお、目標として掲げていた観音坂トンネルの用地買収については、米原側の用地買収は全て完了し、立木等の伐採に着手しました。

教育部長 の事業マニフェスト

● 山東グラウンドの整備……………★

グラウンド整備に当たっては、平成23年3月末の整備完了を目標としていましたが、土地売買契約後、移転登記事務に遅延があったため、予定を変更し年度末の登記完了を目標に進めました。なお、平成24年2月の完了を目指し、引き続き整備に取り組めます。

● 読書好きな子どもの育成……………★★★★

小学生から読書の好きな子どもを育てるため、おはなし会や子ども対象のイベントを開催し、本に親しむきっかけづくりを行いました。その結果、開催回数と参加人数ともに大幅に増え、2学期からは1年生だけでなく2年生にも巡回文庫を拡大して、学校支援を行いました。

市民部長の事業マニフェスト

● 絆マップの作成支援……………★★

絆マップは、平成22年度から2か年かけて全自治会で作成することを目指しています。区長会や防災講演会において早期の取り組みを依頼し、作成の手引きの配布や出前講座を積極的に実施した結果、22自治会で取り組まれ、合計40自治会が絆マップを作成されました。平成23年度中に全ての自治会において作成できるよう引き続き取り組みます。

【実績値】40/105自治会、38.1%

経済環境部長の事業マニフェスト

● 獣害対策の強化……………★★

獣害対策の強化を図るため、有害獣（ハクビシン）の捕獲用檻を新たに25機購入して計60機整備し、駆除に取り組むとともに、米原市猟友会の協力のもと、積極的な個体数調整を進めました。しかしながら、目標としていた集落環境点検への取り組みについては、5集落に対して2集落のみの実施であったため、引き続き取り組み集落が増加するよう啓発を行います。

なお、特に出没が多かったクマ対策については、事故防止等の啓発や情報提供などを適切に行いました。

● 広域観光圏メニューの商品化……………★★★★

自然環境を活かした体験交流型観光の商品化を目標として、上半期には体験交流パンフレットを作成し、首都圏や九州・四国地方の旅行業者を対象に営業を行うとともに、「姉川上流交流体験推進協議会」を設立して受入体制を整備しました。その結果、10月には広島県の公立中学校の修学旅行宿泊を22軒で受け入れ、当初目標の延べ120人を超える、152人の受け入れに成功しました。

地域統括監の事業マニフェスト

● 地域の特色が活かされた市民の 多様なまちづくり活動の支援……………★★

市内のまちづくり団体など26団体に対して、当初の目標どおり事業支援を行い、市民との協働による地域の特色を活かしたまちづくりに取り組みました。また、次年度に向けての事業募集を実施し、応募事業の聞き取りを行いました。